

事業実施状況

1 生涯学習の総合的推進及び支援

(1) 生涯学習に係る情報提供・相談・調査・研究

① 生涯学習情報の提供・相談（協会本部）

ア 学習相談

生涯学習講座等の学習情報を提供するほか、学習計画や講座プログラムの立て方、学習場所の確保、グループの運営方法など、学習者や学習グループ、生涯学習機関等からの様々な相談に応じた。

相談場所	ハーバーランド庁舎6階 生涯学習情報コーナー
相談時間	月～金曜日（祝祭日、年末年始を除く） 9：00～17：15
相談方法	面談、電話、FAX、メール 電話番号 078-360-8533（相談専用）
相談件数	191件

イ 学習情報の提供

講座・講習会、イベント、学校、資格、施設等に関するチラシ・パンフレット・冊子・図書等を配架し、各種の生涯学習に関する情報を提供した。

② 生涯学習情報ネットワークシステム『ひょうごインターキャンパス』（協会本部）

学習したい人が自分に適した学習情報をタイムリーに入手でき、また自己の学習成果を発信できるように、教育機関や企業、行政など様々な生涯学習機関の参画を得、インターネットを活用した多彩な学習情報を発信した。

参画機関数	498 機関
ページビュー	582 千件

③ 生涯学習リーダーバンク（協会本部）

学習によって得た知識や技能を生かして、ボランティア指導者として学習グループなどの活動支援を希望する人を「生涯学習リーダーバンク」に登録し、希望する学習グループ等に紹介した。また、登録情報は登録者名簿を作成し、生涯学習情報ネットワークシステム「ひょうごインターキャンパス」に掲載した。

バンク登録人数：234名

④ 生涯学習公開講座（いなみ野・阪神・嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

高齢者に総合的・体系的な学習の機会を提供している高齢者大学において、多様な分野における知識の充実を目的として各界の著名人による公開講座を開催し、広く県民に対して高齢者大学への関心を高めるとともに、生涯学習への意識啓発を図った。

開催場所 (高齢者大学名)	講座内容	開催日・参加者数
いなみ野学園 大講堂 (いなみ野学園)	「個人と国家を考える ～一身独立して一国独立す～」 講 師：評論家 コメンテーター 金 美齡	開 催 日：平成28年11月26日 参加者数：430名
	「姿勢バランス講座～肩こり・腰痛等痛み のない体作りを目指して～」 講 師：神戸学院大学女子駅伝部副監督 森田 陽子	開 催 日：平成29年1月10日 参加者数：320名
阪神シニアカレ ッジ伊丹学習室 (阪神シニアカレッジ)	シニアのスピーチ会 「100年後子供たちに何を残すか」 10～80代までの6名のシンポジストが参加 者とともに子供の未来について語り合う	開 催 日：平成29年1月15日 参加者数：100名
宝塚ソリオホー ル (阪神シニアカレッジ)	「これからの高齢者に対する福祉施策と地 域活動」 講 師：神戸学院大学教授 金子勇	開 催 日：平成28年2月23日 参加者数：300名
	「新しい教育システムの提案」 講 師：クラーク記念国際高等学校三田分室長 三苫 利光	開 催 日：平成28年3月8日 参加者数：300名
嬉野台生涯教 育センター (うれしの学園)	記念講演 演題：「真田丸ものがたり」 ～大阪の陣と後藤又兵衛～ 講師：講談師 旭堂 南海 氏	開 催 日：平成28年11月 1 日 参加者数：331名
但馬文教府 (みてやま学園)	特別公開講座 (但馬文教府まるごと体感リレーイベント (新規)) 「荒木富佐子 創作和紙人形展「陽だまり の想い」 「姫路パルナソス・マンドリンオーケスト ラ特別演奏」	開催日：平成28年9月30日～ 10月11日 参加者数：500名 開催日：平成28年12月9日 参加者数：300名
西播磨文化会館 (ゆうゆう学園)	「高齢期をポジティブに生きる」 講 師：大阪大学名誉教授 藤田 綾子	開催日：平成28年10月14日 参加者数：284名
	「高齢者は貴重な存在～なぜ人類は文明を 築けたのか？～」 講 師：兵庫県立大学西はりま天文台理学博士 鳴沢 真也	開催日：平成28年11月25日 参加者数：266名
	「花と緑で人を癒す園芸療法の基礎知識」 講 師：兵庫県園芸療法士 上地 あさひ 「アニマルセラピー ～動物と人との共生～」 講 師：どうぶつ王国代表取締役 佐藤 哲也	開催日：平成29年1月27日 参加者数：252名
	「真説～播磨地方とたたら製鉄」 講 師：西播磨歴史研究会副会長 村上 鉦揚 「西播磨から名刀を」 講師：刀工 高見 國一	開催日：平成29年3月3日 参加者数：232名

淡路文化会館 (いざなぎ学園)	「国生み神話と淡路の銅鐸～海人が住む島・淡路～」講師：淡路地方史研究会会長 武田 信一	開催日：平成28年11月16日 参加者数：150名
	「神話の絵画について」 講師：画家 日展会員 小灘 一紀	開催日：平成28年12月17日 参加者数：73名
	「淡路の地名が語るもの」 講師：淡路地方史研究会会長 武田 信一	開催日：平成29年1月13日 参加者数：61名
	「流行歌から時代を読み解く」 講師：兵庫教育大学大学院（音楽学）教授 長尾 義人	開催日：平成29年2月10日 参加者数：58名

⑤ 生涯学習の充実に向けた調査・研究機能の強化（協会本部）

ア 兵庫県生きがい創造協会運営懇話会の設置

県内の生涯学習の一層の充実を図るため、高齢者をはじめとするあらゆる世代の県民自らが積極的に生きがいを創造する活動を支援する公益財団法人兵庫県生きがい創造協会の各種事業運営に関し、自由な立場で意見を交わす懇話会を設置した。

所掌事項：生涯学習の総合的推進及び支援に関すること

高齢者の生きがいづくりの推進及び支援に関すること

地域文化活動の振興及び支援に関すること

協会の運営に関すること

その他理事長が必要と認める事項

イ 生涯学習推進に係る調査研究

(テーマ) 世代間交流・互助の意識と実態に関する調査（兵庫県立大学との共同実施）

ひょうご冒険教育（HAP）の教育的効果と効果的な実施に向けて

⑥ 生涯学習推進アドバイザーの派遣（協会本部）

市町や生涯学習関係機関が抱える様々な課題の解決を支援するため、生涯学習に関する豊富な知見と実績を有する有識者を「生涯学習推進アドバイザー」として派遣した。

・派遣件数 14件

⑦ ニュースレター「生きがい通信」の発行（協会本部）

県民のライフスタイルの創造や、参画と協働による地域社会への貢献についての意識啓発を図るため、県民の生きがいと健康づくりに関する情報などを紹介するニュースレターを年3回作成し、ホームページにより発信を行った。

(2) 生涯学習リーダー(地域活動リーダー)等の養成

事業名	内 容	実 績 (日時・場所・回数・人数等)		
		期別	在籍者数	定員
①ふるさとひょうご創生塾 (協会本部)	魅力あるリーダーシップを持った、ふるさとづくりの「新しい地域リーダー」を育成するため、基礎的な力を実際の地域活動で応用できる力へとスキルアップを図る「ふるさとひょうご創生塾」を運営した。 平成28年度実践活動(第20期生) ①わがまちを知るためのワークショップ 自分達のまちをグループで実際に歩いて、暮らしやすさを再発見する。	20期	20名	30名
		21期	18名	30名
		計	38名	60名
		※人数は受講料納付者数を計上		

	<p>②高齢者の活躍のキッカケづくり ～緩和ケア病棟におけるボランティア活動支援 緩和ケア病棟の現状理解とボランティア活動のあり方を考え、実践する。</p> <p>③世代を超えたコミュニケーションの促進 子育て世代とシニア世代がワークショップを行い、「知縁づくり」の出会いの場をつくる。</p> <p>④みんなで一緒に朝ごはん 子供達が家族と一緒に朝食を作り家族一緒に食卓を囲む楽しさと「食」の大切さを学ぶ。</p>		
②いなみ野学園 研究生制度の実施 (いなみ野)	生涯学習指導者の養成を図るため、いなみ野学園大学院修了者を対象として、講師や指導者としての研究及び実践活動を行う研究生制度を実施した。	H28 認定者数 19名 実績 兵庫大学エクステンションカレッジや公民館等での講座において講話	
③ひょうご冒険教育(HAP)セミナー、講習会 (嬉野台)	スポーツ指導者等冒険教育を必要とする人のための体験会や、ひょうご冒険教育(HAP)に携わる教職員や指導者等の研修会及び講習会を開催し、指導者の資質向上を図った。 対象者：社会教育・野外教育・学校教育生涯学習・企業等の関係者	開催日：平成28年6月5・19日、9月3日、11月6・26日、29年1月14～15日、2月3～5・15・18日、3月18日 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：延べ259名	
④野外活動指導者養成講座 (嬉野台)	野外活動や創作活動等の指導者として必要な知識や技能を習得する機会を提供し、野外活動指導者としての人材を育成する研修を行った。 対象者：野外活動に関心のある者	開催日：平成28年12月18日 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：27名	
⑤全県野外活動フォーラム (嬉野台)	県下の野外活動団体指導者等が一堂に会し、それぞれの活動内容、専門性について交流するとともに、野外活動のあり方やマネジメントについて研修を行った。 対象者：野外活動指導者	開催日：平成28年12月10日 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：38名	
⑥社会教育関係職員研修	ア 新任社会教育関係職員等研修 (協会本部)	新しく社会教育関係職員となった者(2年未満)を対象に、職務を遂行する上で求められる知識や技術を習得するとともに、今後の職務に生かせるビジョンの発見につなげる研修を行った。 対象者：県及び市町社会教育・生涯学習関係者	開催日：平成28年6月3日 場所：いなみ野学園 参加者数：39名
	イ 社会教育関係職員スキルアップ研修 (協会本部)	事業実践力や情報発信力をはじめ、住民主体の学びの場を創出するファシリテーション力等、市町の関係職員が社会教育・生涯学習を推進する上で必要となるスキルの向上を図る研修を行った。 対象者：県及び市町社会教育・生涯学習関係者	開催日：(1)7月22日(2)8月5日(3)8月26日(4)9月23日(5)12月16日 場所：いなみ野学園 参加者数：延べ83名
	ウ 社会教育主管課長等研修 (協会本部)	社会教育・生涯学習についての動向を学ぶとともに、地域の活力を生かした効果的な推進方策を研究協議し、指導者としての資質向上を図る研修を行った。 対象者：市町の社会教育・生涯学習主管課長、公民館長等	開催日：平成28年7月12日 場所：いなみ野学園 参加者数：54名

<p>⑦兵庫教育大学との連携による生涯学習指導者育成研修 (嬉野台)</p>	<p>青少年の体験活動、野外活動に関する基本的な理論と実技を修得する教育実習をセンターで実施・支援するとともに、「うれしの台ユースセミナー」における生活指導員（リーダー）として活動してもらうことにより、学びと実践の一体化を行う研修を実施した。</p> <p>対象者：兵庫教育大学2年生</p>	<p><教育実習>（事前研修） 開催日：平成28年6月24～25日 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：171名</p> <p><実技> (うれしの台ユースセミナー) 開催日：平成28年7月24～27日、 8月4～6日、21～26日 12月25～27日 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：12コース 延べ171名</p>
--	--	---

(3) 次代を担う人づくりの支援

事業名	内 容	実績（日時・場所・回数・人数等）
<p>①うれしの台ユースセミナー (嬉野台)</p>	<p>豊かな感性を育む自然体験、課題解決能力を育む社会体験、自律協調精神を育む生活体験等の様々な体験活動を通じて「たくましいひょうごっ子」を育成するため、多様なメニューの野外活動セミナーを実施した。</p> <p>対象者：小・中・高校生</p>	<p><サマースクール> 期間：平成28年7月24～27日 参加者数：3コース131名 期間：平成28年8月4～6日 参加者数：3コース174名 期間：平成28年8月21～26日 参加者数：4コース179名</p> <p><ウインタースクール> 期間：平成28年12月25～27日 参加者数：2コース36名</p>
<p>②自然学校等学習プログラムの作成支援 (嬉野台)</p>	<p>様々な体験活動を通じて心身の調和、「生きる力」を育むため、自然学校やトライやる・ウィークの受け入れ、総合的な学習の時間への対応、オリエンテーション、集団合宿、課外活動等のための場の提供と、より充実した活動プログラムへの支援を実施した。</p> <p>対象者：幼・小・中・高の児童・生徒</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然学校 受入れ校数 10校 受入れ人数 885名 ・ひょうご冒険教育（HAP） 小学校 10校 914名 中学校 10校 757名 高等学校 7校 406名
<p>③ひょうご・ハバロフスク青少年交流事業 (嬉野台)</p>	<p>本県の青少年少女がロシアハバロフスク地方を訪問し、自然保護区域における活動を通じて環境保護等について学ぶほか、ロシアの生活文化を体験することにより、国際的な視野をもつ青少年の育成や本県とハバロフスク地方との友好親善を図ることを目的に実施した。</p>	<p>期間：平成28年8月14～21日 場所：ロシアハバロフスク地方 関連施設 参加人数：生徒12名 引率者4名 計16名</p>
<p>④民間団体等の人材育成支援 (嬉野台)</p>	<p>企業や大学、社会教育団体が行う人材育成としての研修会等を誘致し、ひょうご冒険教育等のセンター機能を活用した集団研修を支援した。</p> <p>対象者：県民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょうご冒険教育（HAP） 企業 10社 628名 大学 3校 64名 その他 34団体 1,116名

⑤小・中学生作文・詩集「但馬の子ども」の発行 (但馬)	小・中学生から作文・詩を募集し、優秀作品を作品集「但馬の子ども」に掲載した。 生活部門：作文、詩 環境部門：作文 募集対象：但馬地域の小・中学生	応募期間：平成28年9月1日～10月21日 出品数：283点(小学校164点、中学校119点) 〈「但馬の子ども」の発行〉 平成29年3月発行 発行部数：400部
⑥科学する但馬の子ども作品展、研究集録の発行 (但馬)	理科に基礎をおく研究記録、観察記録、科学作品や模型などの作品展を開催し、優秀作品を表彰した。 また優秀作品を研究集録として発行した。 募集対象：但馬地域の小・中学生	〈作品展〉 開催日：平成28年9月16日～22日 場所：県立但馬文教府 来場者数：566人 〈研究集録の発行〉 平成29年3月発行 発行部数：370部
⑦科学する但馬の子どもつどい (但馬文教府まるごと体感リレーイベント(新規))	次代を担う但馬の子どもたちに、地域における優れた取り組みから世界最先端の研究成果など、科学の分野を身近に触れてもらうことにより、科学への好奇心を醸成し、将来の但馬地域の活性化や世界レベルで活躍する人づくりの契機とした。	開催日 平成28年10月29日 場 所 県立但馬文教府 内容・おもしろサイエンスショー、地元高校生による活動発表ほか 参加者数 600名
⑧創作活動体験教室 (同上)	多くの受賞歴を誇る但馬地域の著名な芸術家たちが課題別のコーナーを担当し、わかりやすくポイントを伝えながら指導を行い、子どもたちをはじめ県民による芸術活動の推進を図った。	開催日 平成28年8月7日 場 所 県立但馬文教府 参加者数 102名
⑦いざなぎの丘元気っ子フェスティバル (淡路)	淡路地域で活動する個人や団体が、子どもの健全育成を目的としたプログラムを展開し、こころ豊かで健やかな子どもの育成を図る交流イベントを実施した。 対象者：県民	開催日：平成28年10月2日 場所：淡路文化会館 参加者数：2,200名

⑧ 教育機関等との連携

ア 兵庫教育大学との連携(協会本部・嬉野台)

兵庫教育大学との連携協定に基づき、生涯学習の推進に向けて、連携講座及びユースセミナー等を実施した。

・連携講座

開催日	平成28年11月8日
対象者	いなみ野学園2年生
参加者数	240名
場 所	いなみ野学園 大講堂
内 容	・講 演 演題：プラスチックゴミに関する環境問題 講師：兵庫教育大学学長 福田 光完

・ユースセミナー

開催日	平成28年7月24日～27日、8月4日～6日、8月21日～26日、12月25日～27日
対象者	兵庫教育大学生2年生
参加者数	171名
場所	嬉野台生涯教育センター
内容	兵庫教育大学の教育実習修了者が生活指導員として活動

・うれしの春のフェスティバル

開催日	平成28年5月4日
対象者	兵庫教育大学生ネイチャーサークル部
参加者数	23名
場所	嬉野台生涯教育センター
内容	ネイチャーサークル部代表が「うれしの春のフェスティバル実行委員会」の構成員として参画するとともに、「スタンプラリー」を実施。

・うれしの学園生涯大学

開催日	平成28年9月14日
対象者	兵庫教育大学生留学生
参加者数	6名
場所	嬉野台生涯教育センター
内容	うれしの学園生涯大学4年制大学講座第3学年(58名)と兵庫教育大学留学生との世代間交流事業として、外国語講座、インタビューコーナーを実施。

イ 兵庫県立大学等との連携（協会本部）

兵庫県立大学等が構成員となっている「産学公人材イノベーション推進協議会」に参加（H28.1.30連携協定締結）し、兵庫県立大学経営研究科への大学院生募集案内を行った。

ウ 兵庫大学・兵庫大学短期大学部との連携（協会本部・いなみ野）

兵庫大学・兵庫大学短期大学部との連携協定をいなみ野学園から生きがい創造協会に拡充して締結し、双方の持つ教育資源を活用し施設利用や科目等履修などの相互交流を深め、多様な「学び」につながる継続的な生涯学習の推進を図った。

主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・いなみ野学園同窓研修会主催「夏のつどい」への兵庫大学生（吹奏学部・チアダンス部）の出演、大学祭PR等（いなみ野） ・兵庫大学祭への同窓研修会サークル・地域活動グループ（社交ダンス・太極拳・カクテル一座等）の出演 ・「兵庫大学公開講座」へのいなみ野学園生の参加（いなみ野） ・兵庫大学科目等履修生への申込み、兵庫大学エクステンションカレッジへの参加 ・双方のポスター、パンフレット等の掲示（いなみ野） ・本学園講座への協力、学園行事への後援等（いなみ野） ・兵庫大学学生との学園生とのグループワークによる世代交流（いなみ野） ・兵庫大学からの生涯学習プログラム説明会の実施（いなみ野）
------	---

※ その他、兵庫大学施設利用、公開講座への参加、アンケート調査協力などで連携を行った。

エ 豊岡短期大学との連携（但馬）

近畿大学豊岡短期大学（現豊岡短期大学）との連携協定に基づき、地域社会に貢献できる人材を育成することを目的として、異なる世代がともに学び交流する機会を創出し、生涯学習の推進を図った。

主な内容	<ul style="list-style-type: none">・みてやま学園大学院生が、豊岡短期大学生と共に、短期大学講座「介護制度の概要」、「子育てと高齢者の役割」を受講（平成 28 年 6 月 14 日、6 月 28 日）・豊岡短期大学学園祭「和花季祭」に、みてやま学園大学院生がステージ発表及び模擬店出店（平成 28 年 10 月 29～30 日）
------	---

オ 甲子園大学との連携（阪神）

甲子園大学において、同大学教授等によるシニアカレッジ学生用の特別講義を実施した。また、甲子園大学学生を阪神シニアカレッジに招き、交流を深めた。

主な内容	<ul style="list-style-type: none">・甲子園大学における交流講座の実施 カレッジ学生（健康学科）が、甲子園大学に赴き、大学生とともに講座を受講。また、講義の一環としてグループワークを実施し、交流を深めた。 実施日：平成 28 年 6 月 7 日、14 日、21 日の 3 回・カレッジ健康学科（西宮学習室）における交流講座 カレッジ学生が甲子園大学学生と一緒に「身体のコアを鍛えて健康づくり」と題する講義を受講。健康づくり体操を通して世代を超えた交流を深めた。 実施日：平成 29 年 2 月 7 日
------	---

カ 県立龍野北高等学校との連携（西播磨）

県立龍野北高等学校との連携協定に基づき、相互が保有する人的・物的資源を有効活用して、共に学ぶ場の設定、相互学習支援などを行い、地域貢献をめざした人材育成を促進するとともに、生涯学習の促進を図った。

主な内容	<ul style="list-style-type: none">・高校生とゆうゆう学園生との交流学習会（グループディスカッション）の開催 実施日：平成 28 年 7 月 8 日・介護体験教室の実施（ゆうゆう学園生がモニターとして参加） 実施日：平成 28 年 9 月 16 日・「龍北祭」にゆうゆう学園生が参加 実施日：平成 28 年 10 月 22 日・高校生が「ゆうゆう学園祭」でシニア向けのファッションショーを開催 実施日：平成 28 年 11 月 12 日・ゆうゆう学園講座に高校生が参加 テーマ：「人生の完成期、貴方はどこでどのようにすごしますか」「高齢者は貴重な存在～なぜ人類は文明を築けたのか～」 「体力測定・軽スポーツ大会」・高校生（環境建設工学科）に校外学習の機会を提供するため西播磨文化会館山林地に龍北新橋（アルミ製）の設置やそれに繋がるレンガ遊歩道を施工
------	---

キ 兵庫陶芸美術館及び県立考古博物館との連携（協会本部）

高齢者大学への講師派遣、講座への助言を受けるとともに、兵庫県陶芸美術館及び県立考古博物館事業のPR協力などの連携を推進した。

（４）生涯学習ネットワークの構築

- ① 公民館連合会、高齢者学習研究協議会との連携による研修会や公民館大会の開催（協会本部）
公民館連合会や高齢者学習研究協議会等の運営支援や研修を行うとともに、協会が実施する生涯学習の調査研究への各団体の参画により、その成果を共有し、生涯学習事業の質的向上に取り組んだ。

ア 社会教育主管課長研修

開催日：平成 28 年 7 月 12 日

場 所：いなみ野学園

参加者：54 名

イ 兵庫県公民館大会

開催日：平成 29 年 2 月 7 日

場 所：いなみ野学園

参加者：202 名

- ② シニア大学校関西交流事業（協会本部）

関西の高齢者大学学生・OB等が一堂に会し、互いに知識を深め、交流の輪を広げることを目的として実施している「シニア大学校交流事業」（大阪府で開催）に参加した。

開催日：平成 28 年 10 月 28 日～29 日

場 所：大阪府高齢者大学校

内 容：＜1 日目＞ 活動報告、講演、グループ討議、共同宣言、交流会

＜2 日目＞ 見学(水都・大阪なにわ探検クルーズ)

参加者：154 名（17 校）

- ③ 生活創造情報プラザ（嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動等、県民による主体的な活動（生活創造活動）の拠点施設として「生活創造情報プラザ」を運営した。

〈延べ利用者数〉

実施機関	嬉野台生涯教育センター	但馬文教府	西播磨文化会館	淡路文化会館
利用者数	7,855 名	12,497 名	23,690 名	8,302 名

- ④ コミュニティ応援隊が企画・運営する講座等の支援（嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

豊かな地域コミュニティの創造、県民交流広場等に関するテーマで県民自らが企画し、運営する講座の開設や県民交流広場等コミュニティの広域的なネットワーク化を支援した。

ア ネットワーク化支援

実施機関	内 容
嬉野台生涯教育センター	北播磨地域ネットワーク化支援事業の実施 1 開催日 平成 28 年 11 月 21 日 2 参加者 13 名 3 内 容 ふれあい喫茶どんがりんを訪問し、県民交流広場運営に係るノウハウ等の情報交換を行い、北播磨を中心とした広域的なネットワークの構築支援を図った。
但馬文教府	但馬地域ネットワーク化支援事業の実施 生活創造情報プラザグループ（19会三昧クラブ）による事業の実施を支援した。
西播磨文化会館	西播磨地域ネットワーク化支援事業の実施 県民交流広場事業実施地区と生活創造応援隊の交流会 1 開催日 平成 28 年 8 月 31 日 2 参加者 85 名 3 内 容 ふるさと交流会 2016 生活創造応援隊 2 名と事務局が参加。5つのテーマごとに分かれ、事例報告、テーブルセッションが行われた。その内 2 つのテーマに参加し意見交換等を行った。
	西播磨地域ネットワーク化支援事業の実施 県民交流広場事業実施地区の交流会 1 開催日 平成 29 年 2 月 28 日 2 参加者 61 名 3 内 容 県民交流広場実施地区との実践発表と講演会 佐用町石井地域づくり協議会の実践発表とコミュニティ応援隊の講師を招いて講演会を実施した。
淡路文化会館	淡路地域ネットワーク化支援事業の実施 1 「いざなぎの丘元気っ子フェスティバル」での出展（2 広場） 2 生活創造新聞「ポケットあわじ」での活動紹介記事の掲載

イ コミュニティ応援隊派遣等

実施機関	内 容
嬉野台生涯教育センター	地域コミュニティの再生や円滑な運営、地域の課題解決等を目指して自主的に行う学習会等に専門家を派遣した。（派遣件数 5 件）
但馬文教府	創作体験として、「パソコン」(1)、和太鼓体験(2)、「折り紙」(1)、将棋(5)の講座にコミュニティ応援隊（分野別学習支援）を招聘し、講座を開催した。（派遣件数 7 件） 但馬ゆうゆう塾の実施：7 講座 13 回実施（受講者総数 419 人）
西播磨文化会館	ゆうゆう学園同窓会が実施する講演会や県民交流広場事業実施地区に専門講師を派遣した。（派遣件数 3 件）
淡路文化会館	高齢者グループ、朗読ボランティアグループ、地域活動グループによる健康増進、資質向上、環境学習を図るための講座支援を実施した。（派遣件数 3 件）

⑤ 教育機関等との連携（協会本部・嬉野台）（再掲P 1 1）

⑥ 美術館等の県内文化施設との連携

（協会本部・いなみ野・放送大・阪神・嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

協会の高齢者大学等と県内の美術館や博物館など各種の文化施設とが連携し、それぞれの施設や事業について、相互に広報や情報交換を行うとともに、高齢者大学等の学生を対象とした文化施設の割引利用制度の実施のほか、文化施設から高齢者大学等への講師派遣、高齢者大学等での文化施設事業のPR協力などにより、学生による生涯学習活動の一層の推進と各文化施設の利用促進を図った。

2 高齢者の生きがいつくりの推進及び支援

（1）高齢者大学による人づくりの推進

① 4年制大学講座等

ア いなみ野学園（いなみ野）

高齢者が自ら仲間づくりの輪を広げ、生涯学習を通して教養をより高めるとともに、自己の新しい生き方を創造し、地域社会の発展に寄与することのできる総合的な生涯学習の場として4年制大学講座を運営した。

学 科	園芸	健康づくり	文化	陶芸	計	定員
1年	107名	98名	101名	36名	342名	340名
2年	64名	94名	100名	33名	291名	340名
3年	67名	93名	104名	23名	287名	340名
4年	77名	74名	95名	29名	275名	340名
計	315名	359名	400名	121名	1,195名	1,360名

イ 阪神シニアカレッジ(阪神)

高齢者が生涯学習を通して教養をより高めるとともに、「生涯現役」として創造的に生きるための多彩なプログラムを提供する4年制大学講座を運営した。

学年	園芸	健康	国際理解	計	定員
1年	49名	49名	57名	155名	150名
2年	49名	48名	54名	151名	150名
3年	44名	48名	48名	140名	150名
4年	39名	35名	53名	127名	150名
計	181名	180名	212名	573名	600名

ウ 地域高齢者大学講座（嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

生涯学習の一環として、高齢者の生きがいつくりと社会参加を促進する実践者の養成を図るため、学びと実践の一体化をめざした4年制大学講座を各地域で開設した。

	在籍者数				各定員
	うれしの学園 生涯大学	但馬文教府 みてやま学園	西播磨文化会館 ゆうゆう学園	淡路文化会館 いざなぎ学園	
1年	72名	55名	61名	44名	60名
2年	67名	38名	56名	58名	60名
3年	61名	36名	54名	32名	60名
4年	60名	35名	44名	27名	60名
計	260名	164名	215名	161名	240名

② 高齢者放送大学（ラジオカレッジ）（放送大）

広く県内の高齢者に人間としての円熟をめざした生涯学習の機会を提供し、生きがいの創造に寄与することを目的に、ラジオ講座による高齢者放送大学を運営した。

また、学生相互あるいは学生と講師や職員との交流を深めるため、中央（年2回）、地方（6地区、各年1回）スクーリングや研修旅行のほか、文芸祭を開催した。

県内の地域に結成された各放送大学友の会が実施する学習会等に職員を派遣するなどその活動を支援した。

区分	本科生	聴講生	生涯聴講生	合計
在籍者数	192名	42名	1,909名	2,143名
定員	500名	定員なし		—

③ 聴講生制度（いなみ野・阪神）

いなみ野学園、阪神シニアカレッジの高齢者大学の講座の一部を公開し、地域づくりについて学ぶきっかけづくりを行った。さらに、「人生100年時代」に対応して退職後の生き方を考える世代（退職準備世代）に学びの場を提供するとともに、就業・介護等の事情から高齢者大学への入学が困難な層に学習機会を提供した。

聴講生制度の対象者	60歳未満の学習意欲のある方 60歳以上（県高齢者大学入学対象年齢） 県高齢者大学の学生、卒業生就労、介護等やむを得ない理由で入学困難な方		
聴講対象講座	県高齢者大学の学生以外の者：共通講座及び各専門学科講座 県高齢者大学の学生：他の専門学科講座 ただし、教室の収容能力を超える場合やグループ学習等聴講になじまない講座（講座日程表の講座ごとに聴講の可否を表示）は対象外		
聴講料（資料代等の実費）	県高齢者大学の学生・卒業生	1講座あたり	800円
	県高齢者大学の学生・卒業生以外の者	1講座あたり	1,000円
聴講生数	いなみ野学園 延べ128人	阪神シニアカレッジ	延べ387人

④ いなみ野学園研究生制度の実施（いなみ野）（再掲P9）

⑤ 高齢者大学カリキュラム編成委員会等による高齢者学習のレベルアップ

(協会本部・いなみ野・放送大・阪神・嬉野台・但馬・西播磨・淡路)

県高齢者大学の目的である「学びによる生きがいがづくり、豊かな教養の習得やクラブ活動等の交流による人づくり、学習成果を活かした貢献活動による地域づくり」の達成に資するより適切な講座を学生に提供するため、外部有識者等で構成するカリキュラム編成委員会や運営委員会によるカリキュラム等の検証を行い、より専門的・実践的な講座等への見直しを行った。

⑥ 高齢者大学等運営サポーター制度 (協会本部・いなみ野・放送大)

いなみ野学園や高齢者放送大学等において、卒業生等から高齢者大学の講座運営等を支援する運営サポーターを募り、大学での学習成果を活かしていくとともに、高齢者大学等の活性化を図った。

種 別	委嘱人数	内 容	活動実績
みどりのサポーター	30人	いなみ野学園ガーデニングの日に参加して、いなみ野学園敷地内の庭木や草花の植栽管理活動を行った。	4日 延べ74人
陶芸学科運営サポーター	3人	「テキスト編集サポーター」として、陶芸学科の基礎編テキストを得意のパソコン技術を駆使し、学科主任の指導を受けながら作成した。	46ページ
地域活動支援センター運営サポーター	3人	学生や卒業生による地域活動を促進するために、活動日・内容の調整や情報の発信、指導助言を行った。	延べ 20.5日
ラジオ番組事業サポーター	32人	ラジオ関西と共同して放送する、いなみ野学園生によるシニア向け情報提供番組の制作を助けるため、企画や取材、出演を行った。	52回
ラジオカレッジサポーター	29人	放送内容の文章記録やテキスト発送、スクーリング開催時の受付補助などを行った。	発送12回 行事4回

⑦ いなみ野学園生によるシニア向け情報提供番組の放送 (いなみ野)

ラジオ関西と共同して、学園生が自主企画・制作したシニア向け情報を提供するラジオ番組を放送した。

・ラジオ関西 毎週土曜日 6:45～ 15分間

(2) 地域づくり活動リーダー等の養成

① いなみ野学園大学院講座 (いなみ野)

より専門性の高い実践的な学習を通じて、地域の力を再発見し、地域の魅力づくり等を支援する能力を養成するため、大学院講座(2年制講座)を運営した。

平成27年度には、地域づくり活動の奨励を学習目標に明記し、地域の課題再発見や活動方法の講義を全院生に共通して履修させることから、学科名を「地域づくり研究科」とした。

学科	地域づくり研究科			計	定員
1年	46名			46名	50名
コース	歴史・文化	健康・福祉	環境・地域	*2年よりコース分け	
2年	34名	10名	15名	59名	50名
計	34名	10名	15名	105名	100名

② 阪神ひと・まち創造講座（阪神）

阪神地域の歴史・文化・産業などの地域の魅力や課題、地域社会における人間関係のあり方、地域活動の実例等を学び、コミュニティ活性化の担い手を養成する2年制講座を運営した。

学年	在籍者数	定員
1年	26名	30名
2年	25名	30名
計	51名	60名

③ 地域活動実践講座（嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

4年制大学講座での学習を基礎として生かし、地域における課題をより専門的・実践的に学習し、知識や技能のステップアップを図るとともに、その成果を地域社会に還元する実践者を養成する2年制講座を運営した。

学年	在籍者数				各定員
	うれしの学園 生涯大学	但馬文教府 みてやま学園	西播磨文化会館 ゆうゆう学園	淡路文化会館 いざなぎ学園	
1年	21名	33名	20名	3名	30名
2年	10名	22名	23名	9名	30名
計	31名	55名	43名	12名	60名

(3) 県内の高齢者大学の交流・支援

① 学ぶ高齢者のつどいの開催

（協会本部・いなみ野・放送大・阪神・嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

県内の高齢者大学や高齢者教室で学習する高齢者が一堂に会し、日頃の学習成果の発表と研修を通じて学習を深め、学ぶ高齢者の連帯の輪を広げた。

(中央大会)

区分	内容
開催日	平成28年11月25日(金)
場所	淡路文化会館 講堂
参加者数	350名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の主張（各ブロック代表8名） ・アトラクション 「戎舞」（淡路人形座） ・記念講演 テーマ：「伝統文化の再生は地域を元気にする」 講師：文化プロデューサー 河内 厚郎 氏 ・作品展 出品数：7部門 計146点

(ブロック大会)

ブロック名	開催日	場所	参加者数
東・北播磨	平成 28 年 10 月 14 日	三木市文化会館	430 名
中・西播磨	平成 28 年 10 月 1 日	太子町文化会館 (あすかホール)	260 名
但馬	平成 28 年 10 月 5 日	但馬文教府	—
	※10 月 5 日台風接近のため大会は中止。10/4・5 作品展のみ開催。		
丹波	平成 28 年 9 月 30 日	丹波の森公苑	600 名
淡路	平成 28 年 10 月 19 日	淡路文化会館	480 名
いなみ野	平成 28 年 7 月 15 日	いなみ野学園	420 名
放送大学	平成 28 年 9 月 9 日	いなみ野学園	200 名

② 高齢者学習研究協議会による交流促進及び支援

(協会本部・いなみ野・放送大・阪神・嬉野台・但馬・西播磨・淡路)

県と市町の高齢者大学等の担当者を対象に、高齢者の生涯学習に関する連携事業の実施、共同研究及び情報交換を図る場を設けることにより、県内の高齢者学習の質的向上と一体的な推進を図った。

区 分	回 数	参加者数
ブロック代表者会議	3 回	64 名
各ブロック会議	24 回	397 名
担当者研修会	4 回	163 名
計	31 回	624 名

③ 生涯学習推進アドバイザー派遣 (協会本部) (再掲 P 8)

(4) 地域づくり活動の普及促進

① 地域活動支援センターの運営 (いなみ野・阪神)

ア 地域活動促進の支援体制づくり

県高齢者大学の学生や卒業生等が行う地域活動を促進するため、いなみ野学園と阪神シニアアカレッジにおいて、学生や卒業生等へのボランティア情報の提供やボランティアグループの活動を支援する「地域活動支援センター」を設置した。また、県民交流広場を支援するボランティアグループの事業を助成するなど、地域高齢者大学がこれまで培ってきた仕組みの充実に努めた。

施設名	いなみ野学園	阪神シニアカレッジ
場所	地活第2教室	伊丹教室
主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ登録やマッチング等の地域での実践活動のきっかけづくり ・地域活動の企画・運営に関する相談 ・研修会、講演会の開催 ・広報紙の発行など活動成果の情報発信 	

イ 自主的地域活動等への支援

いなみ野学園の同窓研修会と学生自治会等が一体となって、所属グループのボランティア活動や交流の促進を目指す「いなみ野学園交流活動連絡協議会」の取り組みを支援した。

また、いなみ野学園生が自主的な社会貢献に取り組めるよう「地域活動の日」を設定し、学生自治会が支部単位で行う地域清掃活動等の取り組みを促進した。

さらに、いなみ野学園同窓研修会が主催する「地域&世代間交流『夏のつどい』」（第10回；平成28年8月20日）を支援した。

② 地域づくり活動を支援する仕組みの充実（嬉野台・但馬・西播磨）

嬉野台生涯教育センター及び但馬文教育府では、一般県民からの生涯学習に関する学習相談等に対応するため、県高齢者大学の在學生や卒業生を地域づくりに向けたボランティア団体である生活創造応援隊又は生活創造活動グループとして組織し、学校、公民館、社会福祉施設等に登録グループとして紹介した。

また、西播磨文化会館では、大学院の修了者を学習支援員として登録しており、西播磨高齢者大学や他の高齢者大学における講師として講義を依頼した。

（5）生きがいつくり活動の支援

① シニアニューススポーツの普及支援（協会本部）

ア シニアニューススポーツ普及指導員クラブへの支援

協会が養成したシニアニューススポーツ普及指導員が、各地域で行う指導員クラブの地区大会等の活動を支援するとともに、県の高齢者大学における指導員の普及活動を支援した。

イ シニアニューススポーツイベントの開催

シニアニューススポーツの普及促進のため、当協会が開発したツグゲットボールの全県大会等を開催した。

【ツグゲットボール大会の開催】

- ・全県大会 開催日：平成28年11月7日
会場：姫路市立球技スポーツセンター
参加者数：160名（32チーム）
- ・地区大会 阪神、東播磨、北播磨、中播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路

② 全国健康福祉祭への選手派遣（協会本部）

長崎県で開催された第29回全国健康福祉祭（ねんりんピック）に兵庫県選手団を派遣した。

会期：平成28年10月15日～18日

選手団：168名（23種目）

入賞数：14（優勝：6、準優勝：0、3位：4、優秀賞：4）

最高齢者賞：1（マラソン）

③ 高齢者手づくりの店（協会本部）

高齢者が、趣味の園芸や創作活動として製作した手工芸品や民芸品、育成した野菜・花などを展示照会するとともに販売する場として高齢者手づくりの店を運営した。

出品物：陶芸品、手芸品、絵画、水墨画、俳句、書（軸物）、彫刻、野菜、花、苗など

④ 高齢者園芸センター（協会本部）

高齢者が土と親しみ作物を育てることを通じて健康を増進するとともに、家庭や世代間の心のふれあいと交流を図る場として高齢者園芸センターを運営した。

ア 指導者付貸し農園

ファミリーファーム総区画数		利用区画数
①16.5 m ² /区画	395 区画	315 区画
②30.0 m ² /区画	14 区画	4 区画
③32.0 m ² /区画	39 区画	29 区画

イ 園芸講座の開催

野菜と果樹の栽培管理技術について、園芸センター所長が年間10回園芸講座を開設し、貸農園利用者及び一般県民に座学と実技指導を行った。（貸農園利用者は無料）

ウ 野菜・草花・果物・苗等の販売

園芸センターで収穫した新鮮で安価な野菜等を、園芸センター、いなみ野学園手づくりの店及び近隣の幼稚園等で販売した。

また、近隣の幼稚園児を招き、サツマイモの苗植え体験や芋掘り体験を実施した。

⑤ 高齢者陶芸の村（協会本部）

高齢者が作陶活動を通じて、仲間と共に生きがい創造する場として、会員の自主運営により運営している。

会員は週2回作陶してその作品を兵庫県公館で開催されている公館展に出展するとともに、いなみ野祭等でも展示を行った。

また、高齢者のみならず地域の人々にも施設を開放し、講師が作陶指導を行い広く陶芸の普及と世代間交流を図った。

・会員数 159名 一般利用者（延べ人数）1,988名

3 地域文化活動の振興及び支援

(1) 地域文化活動の振興

	事業名	内 容	実 績 (日時・場所・回数・人数等)
① 嬉野台生涯教育センター	ア うれしの春のフェスティバル	施設開放を行い、文化、スポーツ、地域活動交流などの活動を通じて、家族間、世代間・地域間の交流を深めるイベントを実施した。 対象者：県民	開催日：平成 28 年 5 月 4 日 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：約 3,900 名
	イ 東はりま大茶会（東播磨文化団体連合会、東はりま大茶会実行委員会）	茶道文化の交流事業を実施し、伝統文化の保存・継承を図るとともに地域文化の振興に資するための茶会を開催した。 対象者：団体を構成する会員及び県民	開催日：平成 28 年 10 月 23 日 場所：多可町文化会館ベルディホール 参加者数：600 名
	ウ 東はりまみんよう大会（東播磨文化団体連合会、東はりまみんよう大会実行委員会）	みんように取り組む団体の交流事業を実施し、伝統芸能の継承を図ることにより地域文化の振興を図るための大会を開催した。 対象者：団体を構成する会員及び県民	開催日：平成 28 年 11 月 27 日 場所：加東市滝野文化会館 参加者数：400 名
	エ 東はりまコーラス大会（東播磨文化団体連合会、東はりまコーラス大会実行委員会）	合唱団体による発表と交流の場を提供することで、音楽団体の育成を図るとともに、地域文化の振興に資するための大会を開催した。 対象者：団体を構成する会員及び県民	開催日：平成 28 年 11 月 23 日 場所：三木市文化会館 参加者数：550 名
	オ 東はりま芸能祭（東播磨文化団体連合会、東はりま芸能祭実行委員会）	芸術活動を進める団体に発表の場と交流の機会を提供し、団体の育成を図るとともに、広く県民に鑑賞の場を設けることで地域文化の振興を図るための芸能祭を開催した。 対象者：団体を構成する会員及び県民	開催日：平成 29 年 2 月 26 日 場所：稲美町文化会館 参加者数：460 名
	カ 東播磨選抜美術展（東播磨文化団体連合会、東播磨選抜美術展実行委員会）	公募による美術展を開催し、優れた作品にふれる機会を設けるとともに、創作意欲を喚起することで地域における文化活動の活性化を図るための美術展を開催した。 対象者：団体を構成する会員及び県民	開催日：平成 29 年 2 月 24 日～26 日 場所：高砂市文化保健センター 参加者数：950 名
	キ 東播磨の地域文化を考える会（東播磨文化団体連合会）	県内各市町文化協会・団体の会長及び会員が一堂に会し、各地域における文化振興の現状や課題、地域の特色を生かした事業の推進方策等について情報交換や協議を行った。 対象者：団体を構成する会員及び県民	開催日：平成 29 年 3 月 5 日 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：120 名

② 但馬 文 教 府	ア 文教府夏期大学	県民の教養を高め、こころ豊かに暮らすため、各界の第一人者を招き講演会を開催した。 対象者：県民	開催日：平成 28 年 8 月 6 日 場所：豊岡市民会館文化ホール 講師：舞の海秀平氏 西川ヘレン氏 参加者数：1,000 人
	イ 但馬美術展	日本画・油彩画・水彩画・版画・ミストメディアの 5 部門からなる公募展を実施し、表彰した。 対象者：県民	開催日：平成 28 年 8 月 5 日 ～12 日 出品者数：69 人（72 点） 観覧者数：900 人
	ウ ふるさとのこころをうたう但馬合唱祭	但馬各地の合唱団体が一堂に会し、日頃の練習成果を発表しあい、交流の輪を広げる合唱祭を開催した。 対象者：県民、但馬地域の合唱グループ	開催日：平成 28 年 11 月 23 日 場所：和田山文化会館ジュピターホール 参加者数：1,350 人 参加団体：42 団体
	エ 但馬歴史講演会	但馬史への理解を深め郷土愛を育むため、但馬の歴史や遺跡等についての講演会を実施した。 対象者：県民	開催日：平成 29 年 1 月 22 日 場所：豊岡市立日高農村環境改善センター 参加者数：80 人
	オ 但馬文学のつどい、作品集の発行	<但馬文学のつどい> 短歌、俳句、冠句、川柳の合同作品展と研さん交流の会を開催した。 対象者：但馬地域の県民、児童・生徒 <作品集の発行> 但馬在住者及び但馬のグループに所属する人を対象に各結社に短歌・俳句・冠句・川柳を募集し、『たじま作品集』として発行した。 対象者：但馬地域の県民	<但馬文学のつどい> 開催日：平成 28 年 11 月 19 日 応募数：一般 282 点、 児童生徒 1,601 点 参加者数：180 人 <『たじま作品集』の発行> 募集期間：平成 28 年 10 月 20 日 ～12 月 22 日 平成 29 年 3 月発行 発行部数：500 部
③ 西 播 磨 文 化 会 館	ア 播州段文音頭大会	地域に唄い継がれてきた播州段文音頭の保存会が一堂に集まって交流することで、活動の活性化とともに、地域文化の振興を図る大会を開催した。 対象者：西播磨文化協会連絡協議会加盟の播州段文音頭保存会等、 県民	開催日：平成 28 年 8 月 27 日 場 所：西播磨文化会館 参加者数：350 名
	イ ふるさとの心をうたう西播磨音楽祭	中播磨・西播磨各地で活動している合唱団等の音楽活動団体に発表と交流の場を提供し、それら団体の育成を図るとともに、中播磨・西播磨の特色ある芸術文化活動の向上を図る合唱祭を開催した。 対象者：県民、中播磨・西播磨地域の合唱グループ	開催日：平成 28 年 12 月 4 日 場 所：相生市文化会館 扶桑電通なぎさホール 参加者数：529 名 参加団体：中・西播磨地域の合唱グループ 15 団体

③ 西播磨文化会館	ウ 西播磨ふるさと 写真展	<p><写真展> 作品をとおり、ふるさを見つめ、そこに生きる人、歴史、文化、そしてそれらを育んだ自然の偉大さを感じる中で明日の中・西播磨を考える契機にする。</p> <p>また、作品の鑑賞を通して、互いの技量の向上や交流の輪の拡大を目指し、地域文化の活性化を図る写真展を開催した。</p> <p>テーマ:中・西播磨の自然と文化 対象者: 県民</p> <p><巡回展> 上記の写真展を中播磨・西播磨管内各市町で巡回展示する巡回展を開催し、広くふるさと意識の醸成を図った。</p>	<p><写真展> 期間:平成 28 年 9 月 10 日～16 日 実施場所: 西播磨文化会館 入場者数: 504 名</p> <p><巡回展> 期間: 平成 28 年 10 月 5 日～11 日 場所: 宍粟市波賀市民局 入場者数: 50 名</p> <p>期間: 平成 28 年 11 月 22 日～30 日 場所: 上郡町生涯学習支援センター 入場者数: 510 名</p> <p>期間: 平成 28 年 12 月 1 日～8 日 場所: 宍粟市役所 入場者数: 140 名</p> <p>期間: 平成 28 年 12 月 16 日～28 日 場所: ぎやらりー&喫茶やまだ 入場者数: 120 名</p> <p>期間: 平成 29 年 1 月 12 日～23 日 場所: 相生市文化会館市民ギャラリー 入場者数: 1,200 人</p> <p>期間: 平成 29 年 2 月 1 日～7 日 場所: 姫路市立香寺公民館 入場者数: 705 名</p> <p>期間: 平成 29 年 2 月 12 日～19 日 場所: さよう文化情報センター 入場者数: 700 名</p> <p>期間: 平成 29 年 2 月 21 日～28 日 場所: 赤穂市民会館 入場者数: 730 名</p>
	I 西播磨短歌祭	<p>中播磨・西播磨地域の短歌愛好者の作品を公募し、入選者を表彰するとともに、講師を囲んで作品の鑑賞を行う中で、互いの交流と創作意欲の高揚を図る短歌祭を開催した。</p> <p>対象者: 中・西播磨地域在住または在勤(学)の方 中・西播磨地域の歌会に所属する方</p>	<p>開催日: 平成 28 年 10 月 30 日 場 所: 西播磨文化会館 応募数: 1,141 首 (1,075 名)</p>
	オ 西播磨俳句祭	<p>中播磨・西播磨地域の俳句の愛好者の作品を公募し、入選者を表彰するとともに、講師を囲んで作品の鑑賞を行う中で、互いの交流と創作意欲の高揚を図る俳句祭を開催した。</p> <p>対象者: 中・西播磨地域在住または在勤(学)の方 中・西播磨地域の句会に所属する方</p>	<p>開催日: 平成 28 年 10 月 22 日 場 所: 西播磨文化会館 応募数: 1,514 句 (931 名)</p>

<p style="text-align: center;">③ 西播磨文化会館</p>	<p>カ 西播磨文化会館 開館 40 周年記念事業</p>	<p>対象者はいずれも県民 <40 周年記念講演会> 「一流の習慣術～イチローの原点を知る男 田中将大を育てた男～」 講師：NPO 法人ベースボールスピリッツ 理事長 奥村 幸治 <西播磨文化祭 2016> 地域で活動する様々な団体の活動発表の場を設け、世代を超えて、楽しみ、感動できる芸術文化祭の開催した。 ・ステージ・体験コーナー・うまいもの市・物品販売・絵画展示・「石彫モニュメント」ウォークラリー <公開講座> ①「笑いで心に栄養を」 講師：落語家 桂 春蝶 ②「虹は霧の中から生まれる～これからの人生の楽しみ方～」 講師：タレント・歌手・書家 原田 伸郎 <少女バレーボール大会> 西播磨 4 市 2 町から 8 チームが参加し、たつのバレーボール協会の運営協力を得て大会を開催した。 <世界の食を楽しむ料理教室> ①家庭でできるベトナム料理 講師：ワルト・ファミリー・ジョイ・クラスの皆さん ②家庭でできるポーランド料理 講師：シスター・ゴーラ・ダヌタ <「石彫モニュメント」パンフレット> 西播磨文化会館敷地内にある 19 基のモニュメントのパンフレットを、イラストマップを県立龍野北高等学校、写真をゆうゆう学園写真クラブの協力を得て作成した。</p>	<p>場所はいずれも西播磨文化会館 開催日：平成 28 年 11 月 5 日 参加者数：300 名 開催日：平成 28 年 11 月 27 日 参加者数：1,000 名 開催日：平成 28 年 12 月 10 日 参加者数：250 名 開催日：平成 28 年 12 月 11 日 参加者数：260 名 開催日：平成 29 年 1 月 21 日 参加者数：200 名 開催日：平成 29 年 1 月 29 日 参加者数：28 名 開催日：平成 29 年 2 月 4 日 参加者数：26 名</p>
<p style="text-align: center;">④ 淡路文化会館</p>	<p>7 淡路人形浄瑠璃魅力発信事業</p>	<p>淡路人形浄瑠璃の継承と発展を促すため、“人形浄瑠璃のふるさと”西宮～淡路～徳島～京都と連携し、様々な公演事業に取り組み、淡路人形浄瑠璃の魅力を発信するとともに、振興と併せて後継者の育成を図った。</p>	<p><淡路人形浄瑠璃公演> 開催日：平成 29 年 1 月 14 日 場所：姫路市文化ホール・小ホール（姫路市） 参加者：461 名 <教育関係者向け淡路人形浄瑠璃体験講座> 開催日：平成 28 年 8 月 2 日 場所：南あわじ市福良公民館 淡路人形座 参加者：29 名 <淡路芸能文化体験教室> 平成 28 年 7 月 23 日 淡路文化会館 57 名参加</p>

④ 淡路文化会館	イ 淡路人形浄瑠璃後継者交流発表会	淡路人形浄瑠璃やそれが伝播した阿波人形浄瑠璃など、淡路に影響を受けた全国の人形浄瑠璃後継者団体等と連携し、人形浄瑠璃の鑑賞や公演、交流の場をつくり、後継者の育成につながる機会とする発表会を開催するとともに、各団体のネットワーク化及び全国への情報発信を行った。 出演者：島内外後継者団体（中・高校他） 対象者：県民	〈後継者交流会〉 開催日：平成 28 年 7 月 23 日 場所：淡路文化会館 参加者：103 名 〈後継者団体発表会〉 開催日：平成 28 年 7 月 24 日 場所：淡路文化会館 参加者：800 名
	ウ 淡路島民俗芸能フェスティバル	淡路人形浄瑠璃等の伝統的な芸能や地域に根差した郷土芸能及び淡路島をテーマにした創作芸能等に取り組む団体と徳島で活動する伝統芸能等に関わる団体等が一堂に会し、それぞれの持つ芸能の魅力を島内外に広く発信するフェスティバルを開催するとともに、後継者の育成や発掘を図った。 対象者：県民	開催日：平成 28 年 11 月 20 日 場所：南あわじ市中央公民館 参加者：500 名
	エ 淡路だんじり唄コンクール	淡路の伝統芸能である「だんじり唄」の保存・継承をめざしてコンクールを開催し、地域文化の発展を図った。 対象者：県民	開催日：平成 28 年 4 月 24 日 場所：淡路文化会館 参加者：1,000 名
	オ 淡路地域の特色ある芸術文化振興事業	淡路地域における芸術文化の振興を図るため、淡路地域で組織した実行委員会が芸術文化活動事業を実施した。	実施件数：2 件
	カ 淡路日本画セミナー	日本画の基本及び創作技術の習得と鑑賞眼を養うとともに、芸術に親しむ心を培うことを目的としてセミナーを開催した。 対象者：県民	実施回数：10 回 参加者：初級コース 28 名 中級コース 15 名
	キ 淡路洋画セミナー	洋画の基本及び創作技術の習得と鑑賞眼を養うとともに、芸術に親しむ心を培うことを目的としてセミナーを開催した。 対象者：県民	実施回数：10 回 参加者：40 名
	ク 淡路文化会館講座 PR 事業	淡路文化会館で実施する日本画・洋画セミナーや「いざなぎ学園」受講生の作品展示をはじめ、淡路文化会館の活動を様々な機会を通して PR 活動を行った。 対象者：県民	〈洋画セミナー展示〉 開催日：平成 28 年 4 月 7 日～24 日 場所：淡路文化会館 開催日：平成 28 年 4 月 26 日～5 月 10 日 場所：ゆうらぎ北淡荘 開催日：平成 29 年 2 月 5 日～26 日 場所：淡路文化会館 〈日本画セミナー展示〉 開催日：平成 28 年 4 月 26 日～5 月 8 日 場所：淡路文化会館

④ 淡路文化会館		<p>開催日：平成28年5月12日～6月7日 場所：ゆうらぎ北淡荘</p> <p>開催日：平成28年9月9日～23日 場所：淡路文化会館</p> <p>開催日：平成28年10月8日～10日 場所：洲本市文化体育館</p> <p>開催日：平成29年3月10日～30日 場所：淡路文化会館</p> <p>〈いざなぎ学園作品展示〉 開催日：平成29年2月23日～3月1日 場所：淡路文化会館</p> <p>〈淡路だんじり唄コンクール^ホスター展示〉 開催日：平成28年4月24日 場所：淡路文化会館</p> <p>〈淡路各地の伝統芸能^ホ 祢展示〉 〈淡路の伝統芸能DVD放映〉 開催日：平成28年11月20日 場所：南あわじ市中央公民館</p> <p>〈公開講座〉 開催日：平成28年11月16日 平成28年12月17日 平成29年1月13日 平成29年2月10日 場所：淡路文化会館</p> <p>〈大学院地域実践活動〉 ①うずしおフェスティバル 開催日：平成28年11月12日 ②いざなぎの丘元気っ子フェスティバル 開催日：平成28年10月2日</p>
	<p>ケ スプリングコンサート</p>	<p>淡路島内の音楽関係団体や愛好家に発表と交流の機会を提供し、淡路地域の声楽芸術文化活動の向上及び裾野の拡大を図るコンサートを開催した。</p> <p>対象者：県民</p>

④ 淡路文化会館	㇋ 淡路島魅力発信事業	淡路地域の大きな魅力である伝統芸能や郷土芸能の振興とより一層の発展を期するため、島外において淡路島の伝統芸能の魅力を発信する事業を実施した。 対象者：県民等	〈淡路だんじり唄徳島公演〉 開催日：平成 28 年 10 月 8 日 場所：第 13 回徳島城内小屋掛公演阿波人形浄瑠璃芝居 参加者：60 名 開催日：平成 29 年 1 月 8 日 場所：徳島県立阿波十郎兵衛屋敷えびす祭り 参加者：90 名
	㇌ 郷土資料の収集と提供	淡路地域の郷土芸能等を住民の参画と協働により収集し、DVD化して、必要に応じて市、市教育委員会等に資料として提供した。	【DVD化】 五斗長垣内遺跡収穫祭（淡路市）
	㇍ 淡路伝統文化の振興と情報発信	島内の伝統文化や郷土芸能の保存・継承等を図るために、ホームページによる情報発信等を行った。	〈ホームページ〉 通年

(2) 地域文化活動の支援

事業名	内 容	実 績 (日時・場所・回数・人数等)
① 嬉野台生涯教育センター 7 東播磨文化団体連合会への支援	東・北播磨地域内の各種文化団体の連携と研修を深め、地域の芸術文化の高揚を図ることを目的として設立された東播磨文化団体連合会が実施する各種事業や活動に対する支援を行った。 対象者：団体を構成する会員及び県民	〈役員会・理事会・定期総会〉 開催日：平成 28 年 5 月 28 日 場所：嬉野台生涯教育センター 〈各事業〉 開催時期：平成 28 年 10 月～29 年 3 月 〈みんよう大会〉 場所：加東市 参加者数：400 名 〈大茶会〉 場所：多可町 参加者数：600 名 〈コーラス大会〉 場所：三木市 参加者数：550 名 〈美術展〉 場所：高砂市 参加者数：950 名 〈芸能祭〉 場所：稲美町 参加者数：450 名 〈地域文化を考える会〉 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：100 名 〈「東はりま文化子午線」の刊行〉 平成 29 年 3 月発行 発行部数：1,500 部

② 但馬文教府	ア 但馬文化協会への支援	<p>但馬地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的として設立された但馬文化協会の事務局を運営するなど同協会が実施する各種事業や活動に対する支援を行った。</p> <p>対象者：団体を構成する会員及び県民</p>	<p><ふるさと文化賞推薦> 1 団体(九鹿ざんざか踊り保存会) <ともしびの賞推薦> 1 名(卯野 敦子 氏) <但馬美術展> 但馬文化協会会長賞の授与 開催日：平成 28 年 8 月 5 日 ～12 日</p> <p><但馬合唱祭> 開催日：平成 28 年 11 月 23 日</p>
	イ 但馬芸術文化会議への支援	<p>但馬地域住民の芸術・文化活動の振興を目的として設立された但馬芸術文化会議の事務局を運営するなど、同会議が実施する各種事業や活動に対する支援を行った。</p> <p>対象者：団体を構成する会員及び県民</p>	<p><常任理事会・総会> 開催日：平成 28 年 4 月 9 日</p> <p><会員交流会> 開催日：平成 28 年 4 月 9 日</p> <p><講師派遣事業> 実施回数：6 回</p> <p><但馬文化賞・但馬青少年文化奨励賞> 但馬文化賞：該当なし 但馬青少年文化奨励賞： 県立出石高等学校書道部 豊岡みどり会 朝来市立朝来中学校吹奏楽部</p>
	ウ 但馬美術協会への支援	<p>但馬地域の美術（絵画）振興を図り、郷土文化の向上に寄与することを目的として設立された但馬美術協会の事務局を運営するなど同協会が実施する各種事業や活動に対する支援を行った。</p> <p>対象者：団体を構成する会員及び県民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬美術展の開催、開催にむけた募集と広報活動 開催期間：平成 28 年 8 月 5 日～12 日 ・但馬美術展における但馬文教府長賞の授与
	エ 但馬市郡婦人会連絡協議会への支援	<p>但馬各市町地域婦人会相互の連絡を密にし、但馬のくらしと文化の促進を図り、婦人の資質向上と地域の発展を目指すことを目的として設立された但馬市郡婦人会連絡協議会の事務局を運営するなど同協議会が実施する各種事業や活動に対する支援を行った。</p> <p>対象者：団体を構成する会員及び県民</p>	<p><但馬市郡婦人会交流会> 開催日：平成 28 年 10 月 26 日 場所：北前館等（豊岡市竹野町）</p>
③ 西播磨文化会館	ア 西播磨文化協会連絡協議会への支援	<p>中播磨・西播磨地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的として設立された西播磨文化協会連絡協議会が取り組む各種事業や活動に対して支援を行った。</p> <p>対象者：団体を構成する会員及び県民</p>	<p><西播磨文化協議会研修会> 開催日：平成 28 年 6 月 1 日 場 所：西播磨文化会館 参加者数：73 名</p> <p><西播磨地域ふれあい文化交流会> 開催日：平成 28 年 11 月 17 日 場所：相生市文化会館 扶桑電通なぎさホール他 参加者数：84 名</p> <p><新年文化交流会> 開催日：平成 29 年 1 月 11 日 場所：西播磨文化会館 参加者数：94 名</p> <p><機関誌「西播磨文化」の発行> 発行日：平成 29 年 3 月 1 日 発行部数：1,000 部</p>

④淡路文化会館	<p>7 淡路文化団体連絡協議会への支援</p>	<p>淡路地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的として設立された淡路文化団体連絡協議会の事務局を運営するなど同協議会が実施する各種事業や活動に対する支援を行った。</p>	<p><淡路芸術文化祭> 淡路地域の団体が実施する芸術文化活動に関する情報を集約、発信した。 参加事業：26 事業 参加者数：17,800 名</p> <p><第 35 回全淡短歌祭> 開催日：平成 28 年 7 月 16 日 場所：洲本図書館 参加者数：43 名</p> <p><第 40 回淡路島俳句大会> 開催日：平成 28 年 11 月 13 日 場所：淡路文化史料館 参加者数：60 名</p> <p><第 38 回淡路文学作品展> 開催日：平成 28 年 11 月 26 日 ～12 月 9 日 場所：淡路文化史料館 参加者数：330 名</p> <p><ふるさと文化交流事業> 開催日：平成 28 年 8 月 27 日 場所：五斗長垣内遺跡活用拠点施設 参加者：22 名</p> <p><文化情報誌「あわじ」第 24 号> 発行日：平成 29 年 3 月発行 発行部数：850 部</p>
---------	--------------------------	---	---

4 財団の健全運営及び県立施設の適正管理

(1) 財団の健全運営

① 経営戦略会議の運営（協会本部）

協会幹部による経営戦略会議において、協会が一体となって経費節減及び収入増のための取組等を協議するとともに、「生きがい創造会議未来100」において経営ビジョン策定、いなみ野50周年、協会40周年等記念事業に関して関係幹部の情報共有を進め、その円滑な推進を図った。なお、経営ビジョン策定については、引き続き策定に向けて作業を進めており、有識者からの意見を聞いているところである。

・生きがい創造会議未来100 5回開催

② 広報推進員制度等による情報発信（協会本部）

協会のイメージアップを図る広報戦略を推進するため、「広報推進員制度」を活用し、各施設・事業ごとの適切な広報計画の作成や、時宜を得た広報事業を展開するとともに積極的な情報発信に努めた。

(2) 便利で親しまれる県立施設の管理運営（協会本部・嬉野台・但馬・西播磨・淡路）

① 県立施設の効率的な運営

県から指定管理委託を受託している嬉野台生涯教育センター、但馬文教府、西播磨文化会館及び淡路文化会館については、協会と各施設が一体となって、効率的運営のための方策を協議・実施してきた。

② 県立施設の学習・地域づくり活動の活性化の検討

県立4施設は各地域の生涯学習や地域づくり活動等の拠点としての役割を担っており、平成27年度は耐震改修工事のため閉館していたが、リニューアルオープン後に新たな施設を有効に活用して更なる活性化を図るため、県や地域団体と連携しながら具体的な方策を検討した。